

## 1. インターバンク市場

9/7~11のインターバンク市場は、高水準の当座預金残高を背景に、足許金利は終始落ち着いた展開となった。無担保コールO/N物は、週を通して地銀・信託の調達率が0.07%台半ばから後半、大手行からは0.075%の調達が行われていた。無担保コールO/N加重平均レートは、日々の取引に特段の変化が見受けられなかったことや、大規模な試し取りが実施されなかったことを反映し、0.075%近辺での推移となった。ターム物は証券業態のロール案件が見られたほか、大手行から金融政策決定会合2日目(15日)を跨がない1W物の調達が見られた。固定金利方式の共通担保オペは、9日に3M・15,000億円でおファーされた。応札額は230億円となり、期落ち額の5,550億円を大幅に下回るなど、意外感のある結果となった。

9/14~18のインターバンク市場は、財政等要因として14日の源泉税揚げが挙げられる。大型連休を前に18日は銀行券の発行要因が強まると見られるが、資金需給要因で1兆円を超える過不足が発生する日は無いと見込まれる。各種買入オペの実施により、当座預金残高は236~238兆円程度になると考えられる。無担保コールO/Nレートに特段の変動は無いと予想される。主要なイベントとしては、14~15日に開催される日銀金融政策決定会合、15日の8月の英国CPI、16日の米国CPI、16~17日に開催されるFOMCが挙げられる。

## 2. オープン市場

9/7~11の短国市場は、週を通して材料に乏しく、閑散なマーケットが続いた。短国の入札は、8日に6M物、10日に3M物が行われた。6M物の入札は、WI取引で▲0.016~▲0.015%の出合いが見られたこともあり、平均落札利回こそ▲0.008%と強めになったが、按分落札利回りは▲0.002%と概ね事前予想通りの結果となった。その後のセカンダリーは、▲0.002%で調整程度の出合いが見られ、その後は様子見となった。3M物は、WI取引で▲0.006~▲0.004%の出合いが見られ、平均落札利回こそ▲0.0032%と強めの結果となったが、按分落札利回は0.0000%と概ね市場の予想通りの結果に落ち着いた。事前予想通りの結果に落ち着いた事もあり、セカンダリーは0.0000%の出合いが見られた程度と小動きであった。短国買入オペは、11日に前回比9,000億円増額の15,000億円でおファーされた。予想外に多い買入額となったことで、平均落札利回較差▲0.001%、按分利回較差▲0.004%とやや強めの結果となった。

9/7~11のCP市場は、石油、鉄鋼、ゴム業態等複数業態で大型発行案件が散見されたものの、週間発行総額は6,000億円程度にとどまり、償還額1兆円を下回った。レート水準は、期越え物の低下につられる形で小幅低下した。a-1格銘柄では、期内物は0.08~0.095%程度、期越え物は0.075~0.085%程度が中心となった。例年、期末近辺では、再運用リスクを警戒する投資家のニーズが期越え物に集中する。そのため、期内償還物と期越え物で逆イールドを形成する傾向にあるが、今期は足許の発行がやや少なく、期内償還物への金利上昇圧力が弱めとなっている。

9/14~18の短国市場は、16日に1Y物、17日に3M物の入札が実施予定となっている。1Y物は引き続きマイナス圏で強い結果となることが予想される。3M物は引き続き0%近辺の結果が見込まれる。CP市場は、19日から大型連休に入ることで、発行量の変化が注目される。期内物の発行が積みあがる展開となれば、期内物のレート上昇余地がでてくるため、動向が注目される。14日にはCP等買入オペの実施が予定されている。発行レートの低下に伴い、按分レートも低下することが予想される。

## 3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で2,100億円程度の発行超見通し。財政等要因は、14日の源泉税揚げ、15日の2Y発行・個人向け国債発行等があり、12,000億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で14,100億円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還を除く)の動きは次の通り。<14日>TB3M;償還54,000億円・発行51,000億円 <15日>2Y;償還20,700億円・発行25,000億円/個人向け3Y・5Y・10Y;発行2,300億円/個人向け3Y;償還300億円

2015年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
9/14(月)	900	▲8,000	▲7,100	CP買入	▲300		▲300	▲7,400
9/15(火)	1,000	▲5,000	▲4,000	国債買入 短国買入 社債買入		8,700 15,000 1,000	24,700	20,700
9/16(水)	0	▲1,000	▲1,000				0	▲1,000
9/17(木)	▲2,000	1,000	▲1,000	貸出増加支援 CP買入	▲100	5,000	4,900	3,900
9/18(金)	▲2,000	1,000	▲1,000				0	▲1,000
週間合計	▲2,100	▲12,000	▲14,100		▲400	29,700	29,300	15,200

(注) 上表の9/14は日銀予想、9/15以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
9/14(月)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~) 7月の第3次産業活動指数(経済産業省 8:50) 7月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)		
9/15(火)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30)		8月の米小売売上高 7月の米企業在庫 8月の米鉱工業生産・設備稼働率 8月の英消費者物価指数
9/16(水)	金融経済月報(日銀 14:00)	TB1Y 25,000億円 9/24発行	米FOMC(1日目) 8月の米消費者物価指数 8月のユーロ圏消費者物価指数改定値
9/17(木)	8月の貿易統計(財務省 8:50) 全国証券大会にて黒田総裁講演	TB3M 51,000億円 9/24発行	米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 8月の米住宅着工件数
9/18(金)	金融政策決定会合議事要旨(8月6,7日分 8:50)		

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。